

2025 学習会のご案内

4月28日

どなたでもどうぞ。お互いの教育実践から共に学び合うための自主的な研修会です。別紙日程で開催していく予定です。土曜日の午後、本当に充実時間になりますよ。

東備学ぶ会は十三年目を迎えました。

本会は、2012年の第64回全国人権・同和教育研究大会/岡山大会開催を機に、「人権教育の内実をつくり」さらに、「豊かな」教育実践を創るために、「同和教育の財産」を大切にしたい学習会（研修会）を行なっています。

「同和教育」という名称が、「人権教育」と置き換えられ月日は経ちましたが、私たちは同和教育の一貫したテーマ「差別の現実から深く学ぶ」ことを活動の原点として考えています。同和教育を進めてきた諸先輩たちは、その時々「きょうも机にあの子がいない」（長欠・不就学の問題）、「ひとりの落ちこぼれも出さず」（学力の問題）、「しんどい子を学級経営の中心に」（仲間づくり）などのかたちで問題提起を行いながら、日本における教育の前進のために数々の先駆的な実践を積み重ね、大きな成果をあげてきました。そしてその中で確立されてきた①差別の現実から深く学ぶ。②教育と運動を結合する。③弱い立場にある子どもを中心とする生活を通した仲間づくりをする。④差別と自己とのかかわりを大切にする。⑤教員・指導者の自己変革を大切にする。この五つの原則は、今日の教育課題を「切り結んでいく」ための重要な原則と重なります。同和教育と人権教育の関係は対立的のものでもなく、同和教育が人権教育に変わったわけでもありません。「普遍から個別へ」「個別から普遍へ」という不可分の関係として考えることが大切だと思います。同和教育で積み上げてきた豊かな教育内容と実践は、国際的な人権教育で提起されてきた内容と完全に一致していると確信をもっています。

多忙な毎日ですが、私たち自身が〈学び合うから〉を高めることは、子どもたちの〈豊かなそだち〉へつながっていきます。一緒に語り合いましょう。学び合いましょう。

5月10日
(土)

13:30～16:00
和気町藤野会館
(和気町藤野1709)
(0869) 93-2529

新しいクラス・学年がスタートしました。【定例学習会】

「つながるクラス」って？仲間づくりって？

「黄金の3日間」を超える！？学級づくり実践をもとに

子ども・保護者・クラス・私たちが求める〈安心〉について考えます

…子どもはどうして「何で」つながっているの？「ホントウにつながってる？」

…「つながる」ってどういうこと？そもそも、なぜ「つながるの」？

…クラスは居心地のよい、安心できる場所になっているのかな？

○参加費無料 事前申込必要ありません ○後援:岡山県教職員組合東備支部教文部(申請中)

「人権を通しての教育 (education in or through humanrights)」は、学校教育全体を通して、子どもたちが人権の大切さを日常的に感じながら、学習することができる環境を、学校や学級において作り出すことができているかという視点です。そのような視点から、参加者同士で日々の教育実践を創っていく時間とします。お気軽にご参加ください。

【参考】つながるって？

「見つめる」「語る」「つながる」…人権・同和教育における仲間づくりをめざして生み出された独特の「学び」のスタイル。

☆「見つめる」…「自己洞察」である。自己の内面を見つめるだけでなく、他者との関係や社会との関係における自分の存在を見つめていくことである。

☆「語る」…「自己開示」である。「語りたい」と欲したときに、ありのままの自分、赤裸々な自分を他者に伝える行為である。

☆「つながる」…「人間関係づくり」である。日常の人間関係の中で、一人ひとりの「友だちになりたい」という気持ちを出し合い、より相手のことを知っていくことで、人間関係の絆を深めることである。

○地域の人々や親、人生のモデルとなるような他者等の「語り」を聞いて共感するなどで、自分の生活の現実や気持ちを見つめます。その気持ちを「語りたい」「分かってほしい」と欲したときに、自己を受容してくれる相手に語ります。「自分の気持ちを言えてすっきりした。」「みんなに分かってもらえてうれしかった。」という安心感は、強い自己肯定感に結びつきます。また、自己開示をし、自分を「語る」過程で新しい自分に気づき、自己洞察が一層深まります。「語ること」は、自己と他者の「つながり」を深めます。葛藤や悩みを相互に「語る」機会が与えられることで、子どもたちは初めて信頼にもとづく人間関係を創出していくことができます。こうした日常の人間関係づくりのなかで、子どもたちは自己と他者との間のトラブルに対して問題解決能力をつけ、自他ともに對する信頼感を培っていくのです。同和教育(人権教育)は、単に部落問題、人権問題をどう教えるかということだけでなく、「自分の生活を見つめ、語り、仲間とつながること」を一貫して追求してきたのです。【参考】◇『子どもの心がひらく人権教育』松下一世著 解放出版社

◎東備学ぶ会 代表 早瀬尚子(備前市立日生東小学校) 越宗 勇(和気町教育委員会)

連絡先/事務局 久次博文(備前市立日生中学校) (090) 7596-9656 日程の変更があります。ご連絡を。